

人間生活学部

人間生活学部は、生命及び人間の尊厳と個人の多様な生き方を尊重し、他者と共存しつつ自立した生活を送り、人間と社会及び自然の相互関係に対する洞察に基づいて、多様化・複雑化してゆく生活の諸課題に責任を持って対処し、国際関係を超えた地球的視野から生活の諸問題を実践的に対処することのできる女性を育てる。

人間生活学科

人間生活学科は、広く共生社会の実現に貢献するため、多様な価値観をもつ他者との協働的な取り組みを通して、日常生活の課題にしなやかに向き合い、行動し続ける女性の育成を目的とする。そのために、生活・福祉に関わる知識や技能、それらをつなげるプロジェクトを運営する実践力を養うことを目指す。

食物栄養学科

食物栄養学科は、人間生活（ヒューマン・ライフ）の視点から、人と人との関わりの中でとらえた食と栄養の教育・研究を目指している。そのために、入門から専門への段階を踏んだカリキュラムに従い教育・探究し、その過程で情報リテラシー、思考力・問題解決能力、コミュニケーション能力、専門能力を高め、柔軟にして科学的・客観的なものの見方ができる女性を育成する。その結果、健康・栄養情報をリアルタイムにとらえ、それを人のところに共感しながらやさしく伝えることで生活の質の向上と社会に貢献できる管理栄養士を送り出すことを目的としている。

子ども教育学科

子ども教育学科では、人が人として成長していくための基礎を築き上げる時期である乳児期から児童期の子どもの成長や子どもにかかわる人びとを支えるために必要な学びを得ることができるカリキュラムを構成しており、地域社会に貢献できる幅広い視野を持ちながら、乳幼児期の子どもと就学後の子どもの教育を連続的に捉えることができる教育者の養成を目指している。4年間の学びを通して、子どもの発達の連続性・子どもを取り巻く人びとや社会の状況・各関係機関との連携のあり方などを総合的に捉える思考力を身につけ、学生自らが人間的成長を遂げることができる教育によって、子どもに深くかかわる専門家や、さまざまな立場から子どもの周囲にいる人びとを支えることで社会に貢献する人材を送り出すことを目的としている。